

大杉谷川をよみがえらせる会

自然豊かなで魚が多く住む川を 次世代へ引き渡して行く為に・・・

13年間の活動とこれから

平成31年2月23日

大杉谷川の位置(小松市)と赤瀬ダム



【一級河川・梯川】

延長 42Km 平均流量 14.2m2/s 流域面積 271km2 水源 鈴ヶ岳 水源の標高 1,174m

【赤瀬ダム】

1978年(昭和53年)竣工 治水・利水 重力式コンクリート 堤高 38m、堤頂長 180m、 堤体積 77千m3 総貯水容量 6,000千m3 有効貯水容量 5,200千m3

活動当初の大杉谷川





橋から川が見えず

川底に糸状性藻類(生物の餌になりにくい)

活動当初の大杉谷川

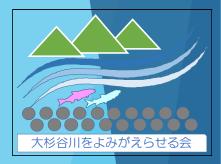


川の中も荒れ放題



川への関心無くなる

大杉谷川をよみがえらせる会の設立

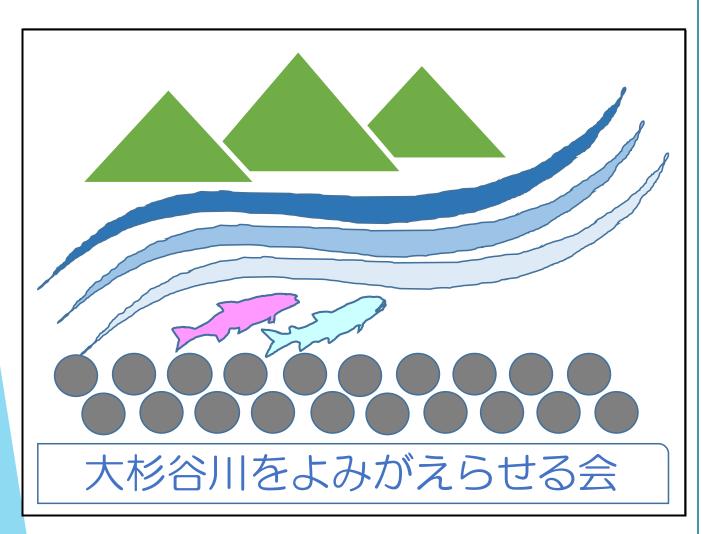


- 1. 設立
- ◇①設立総会 平成18年6月4日

◇②設立目的(設立趣意書要約)

地域の各種団体が梯川上流域の「大杉谷川」をダムができる以前のように、「子どもが川遊びができる」にしようと結成した。

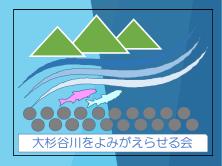
大杉谷川をよみがえらせる会の思い



【大杉谷をよみがえらせる会のロゴ】

- ◇山は『河川の景観』
- ◇流線は『清流』
- ◇ピンクの魚は『桜ウグイ』
- ◇青の魚は『スイカの香りの鮎』
- ◆20個の砂礫は『流域の10町』と『かが森林組合・大杉谷川漁協・大杉谷観光協会・JA小松松東支店・瀬谷商工会・地区婦人会・体育協会・波佐谷小PTA・せせらぎの郷・鈴ケ岳を守る会』を表しています。

当時の組織



2. 組織

- ◇① 石川県小松市大杉谷地区(波佐谷小学校 校下) 約400世帯
- ◇② 全10町の町内会

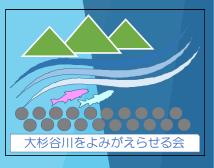
長谷·波佐谷·瀬領·上J江·打木·赤瀬·大杉地区4町内会

- ◇③ 10の地域団体
 - •かが<u>森林組合</u>•大杉谷川<u>漁協</u>•大杉谷<u>観光協会</u>•JA小松市松東支店
 - •瀬谷<u>商工会</u>•地区<u>婦人会</u>•<u>体育協会</u>•波佐谷<u>小PTA</u>
 - ・せせらぎの郷・鈴ケ岳を守る会

以上が参加し結成

当時の財政

現在も毎年拠出して頂いている



3. 財政

◇①10の町内会から1世帯当たり150円の活動支援金を拠出している。 金額約 50,000円

◇②小松市より活動助成金

150,000円

合計200,000円が活動資金

大杉谷川をよみがえらせる会の活動計画

	大杉谷川クリーン作戦	放流事業	河床耕耘	学習活動	視察•交 流活動	ポスターコンクール	夏の親 子水棲 生物調 査	会報の 発表	ウグイの 人口産 卵床
平成28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	
平成29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成31年度予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成32年度予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0

これまでの8つの活動



・大杉谷川クリーン作戦

• 放流事業

•河床耕耘

•学習活動

•視察·交流 活動

・ポスターコンクール

•夏の親子水 棲生物調査

•会報の発表



5月~10月

- ・大きな取組みは「よみがえらせる会」として取組み
- ・6町内会と3団体は場所を決め毎年取組んでいる
- ・述べ約250名が参加



6月10日 よみがえらせる会の取組みの様子 川に日が差し込むように雑木や竹の伐採





雑木はまきストーブに利用



秋にはカメラスポットに





行政の広報にも掲載されました!



【平成24年6月3日】

こまつ水郷2020ネット



(事務局: 小松市まちデザイン課内)

6月3日、大杉谷川をよみかえらせる会は、飛橋の上流にて竹・雑木の伐採作業を行いました。 当日は、天気も良く、総勢46名のみなさんが、 護岸に茂っている竹や雑木を伐採し、50cm未満











河床耕耘

これまでに3カ所で取り組む







河床耕耘

川底がきれいになり、浮石もできて魚には最適な場所に!





時々の課題について学習



H28年 埼玉大学淺枝教授と大杉谷川の現地調査

現地調査後の学習と意見交換





H29年 金沢大学川畠教授を迎えて 里山里川について学習





H30年 中央水産研究所 内水面センター 中村智幸氏を迎えて ウグイの人工産卵床づくりの学習







この他にも

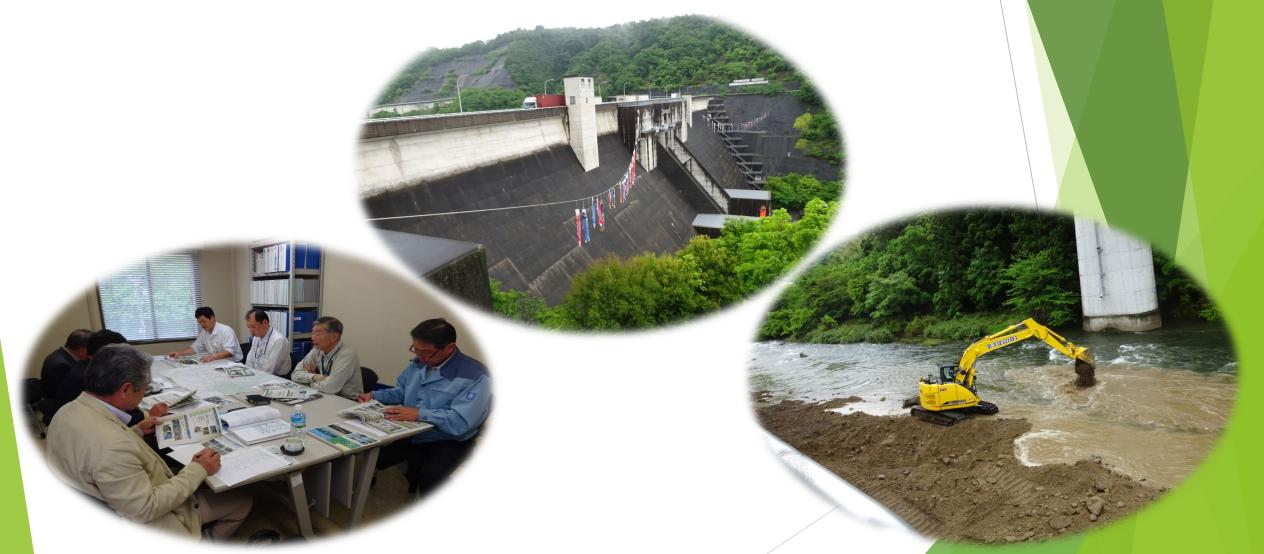
- •石川高専
- ・金沢大学 2名の教授
- •石川県内水面水産センター

から講師を招いて学習活動を行った

視察•交流活動







視察•交流活動

滋賀県 愛知川清流会と交流 永源寺ダムの視察及び意見交換会





環境ポスターコンクール

- ・毎年夏休みに
- ・今年度は101点 の応募
- ・地域の公民館まつりで表彰式



環境ポスターコンクール

公民館まつりで優秀作品を展示





環境ポスターコンクール

優秀作品で看板を5か所設置





夏の親子水棲生物調査

調査資料 →

会のメンバーが 自前で作成





夏の親子水棲生物調査

4年生を対象に父兄参加で



大杉谷川をよみがえらせる会



3カ所の決まった場所を調査

会報の発行

28年度活動方針及び予

改選もおこなわれました

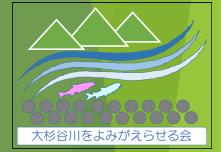
上り江大橋周辺の竹・ (石川県とよみがえらも 大杉谷川クリーン作戦

(会から助成します。)

(波佐小4年生対象)

大杉谷川をよみがえらせる会だより

10町内会で回覧



2016 NO. 1

第10回 総会を開催しました!



(議長は藤田波佐谷町内会長)



大杉谷川をよみがえらせる会だより 2016. 5. 21 (±), §

上い江大橋周辺の環境整備作業!







波佐谷小学校 みどりの ⑤ ヘドロ対策でフラショ どの調査研究





励のあいさつを行いました。

かが森林組合からも2名の応援が



大杉谷川をよみがえらせる会だより

上心江大橋周辺 河床耕転!





岩を置いたところに砂利を



バーベキューができる場所に!

川底に溜まったヘドロの除去とさかなの餌 場や隠れ場所をつくる目的で、6月21日初め て実験的取組みとして行いました。



さかなの隠れ家づくり!



こんな「せせらぎ」が完成!

今回は、長谷町の岡嶋(丸新)さんの協力で 行いました。

今後は、よみがえらせる会の活動の 1 つとし て、町内ごとに場所を決め、取組めたらと考え

大杉谷川をよみがえらせる会だより

環境ポスターコンクール 表彰式!



波佐谷小を対象の夏休み「環境ポスター コンクール」に37名の応募があり、10 月26日(水)優秀作品の表彰式がありま

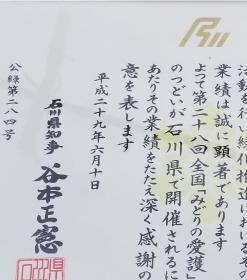
(←写真 最優秀賞 5年 城下稀吉郎)

作品は、最優秀賞1点、優秀賞11点、佳作11点、参加賞14点でした。

(↓ 写真 優秀賞、佳作のみなさん)



"表彰されました"



点点が多 谷本玉窓 !!!!!

業績は誠に顕著であります 活動を行い緑化推進におけるその費団体はみどりの愛護に優れた 大杉谷川をよみがえらせる会様

石川県



美化活動に積極的に努められると 貴会は河川の清掃など河川環境の ともに河川愛護思想の普及に尽力 された功績は誠に顕著であります らてその功績をたたえ表彰します 平成二十六年五月二十七日 石川県治水協会 大杉谷川をよみがえらせる会殿 酒井梯次郎

その功績はまことに多大なもの の水質・水生生物調査、 貴会は小松市を流れる大杉谷川 会長 虫明 功臣 よみがえらせる会 殿

日本河川協会

石川県治水協会

昨年度から取り組んでいる活動



ウグイの人工産卵床づくり

- H29年8月からスター 2.産卵床づくり(H30,5)

 - ・ 土砂の搬入
 - •河床の整備
- 1.産卵床づくりの事前準備(H29)
- 適地調査
- ・土砂の確保と採集
- ・魚の生息調査(事前調査)

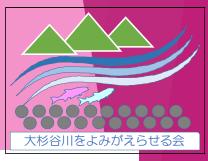
- 3. 産卵床整備後(5月以降)
- ・産卵床のメンテナンス
- •産卵床学習会
- ・魚の生息調査(事後調査)

8つの活動+魚を増やす活動!

1.産卵床づくりの事前準備

適地調查 H29.8.4





江指堰堤 増水により堆積した 土砂を確保 H29.8.24



1.産卵床づくりの事前準備

産卵床づくり前の 魚の生息調査 H29.10.6





江指堰堤 堆積した 土砂の採集 H29.11



1.産卵床づくりの事前準備

江指堰堤 採集した土砂 H29.11





前 準 備 完

次の年の春から 春から 産卵床づくり開始

2.ウグイの産卵床づくり H30.4.22

「さくらウグイ」のいる大杉谷川を目指して!

ウグイの産卵床づくりは事前調査で適地と判断した2箇所



2.ウグイの産卵床づくり H30.4.22





地元紙で紹介されました!





ウグイ復活へ産卵床を設置 小松・大杉谷川 地元団体が22日

2018/04/12 01:5

かつて群れを成していたウグイの無影を取り戻そうと、小松市の山間部を流れる大杉谷川で、魚が卵を産みやすいよう 川底をくぼませる「産卵床(しょう)」を作る活動が始ま る。清流復活を目指し、川底にたまった泥の除去など環境づくりに10年以上を費やしてきた「大杉谷川をよみがえらせる会」が22日に実施する。同会にとっては初めて本格的に魚を増やす事業となり、メンバーは「夢の実現に向けた一歩だ」と意気込んでいる。

ウグイの産卵床を設置する大杉谷川を眺める表さん=小松市上り江町

産卵床の設置場所は、県内水面水産センター(加賀市) 職

員の助言で、飛橋付近の下流の1カ所と、上り江大橋付近の上流、下流の各1カ所を選んだ。当日は同センター職員が指導し、会員がクワなどを使って川底を幅2~3メートル四方、深さ30~60センチ掘り、小石を均一になるように敷き詰める。

よみがえらせる会は2006年、大杉谷川流域の10町内会や関係機関、団体などで発足した。同会によると、上流にある赤瀬ダムが1978年に竣工した後、川底に泥がたまりやすくなった。ダムによって川の流れが弱くなったためとみられ、川底の石に泥が付着して薬が育たなくなり、薬を餌とするウグイやゴリなどの魚類が激減したという。

大杉谷川は梯(かけはし)川上流域で、景勝地の荒俣峡を形成する要素にもなっている。同会は多くの魚が生息した自然 豊かな渓流を取り戻すため、川沿いに繁茂する竹や雑木を伐採して水中の藻やプランクトンの繁殖を促したり、重機を使っ て川底の石を移動させて表面に付着した泥を取り除いたりしてきた。

同会の調査では、魚の数は目立って増えていないが、動植物が繁殖する環境を整備できたと判断し、産卵床を設けること にした。事務局長の表重雄さん=打木町=は「ウグイをはじめ、アユやゴリなども増やしたい」と話した。



3. 産卵床整備後

大杉谷川をよみがえらせる会

産卵床のメンテナンス H30.5.1



産卵床の学習会 H30.5.19



3.產卵床整備後

魚の生息調査(事後調査)H30.10.14



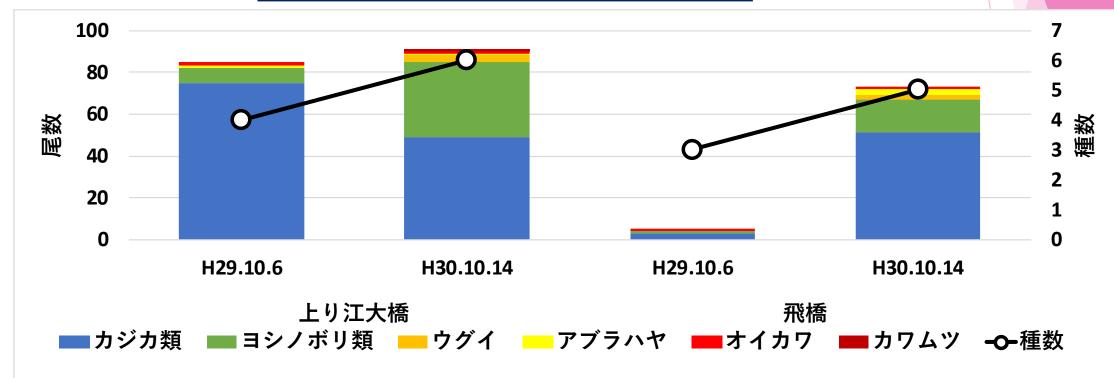


3. 産卵床整備後

生息調査結果

- ①調査当日の水量・水温等の条件が良かった
- ②雑木の伐採・河床耕耘・人工産卵床の効果があったのか?
- ③魚種・生息数が増えていた

継続的な調査を進めて行きたい





これまでの成果

- ①ダム下流では、川が見えるようになったと喜びの声
- ②年を追うごとに活動への参加者が増加した
- ③地域から私の町でも取り組んで欲しいと要望の声
- ④水産多面的事業のスタートで、活動の幅が広がる

これからの課題

- ①本来の目的である「魚を増やす取組」を本格的に取り組む
 - ・ウグイの人工産卵床づくり ⇒ 2カ所から3か所に
 - ・アユの釣り場の雑木等の伐採(景観整備⇒魚の餌場・生育場の整備)
- ②情報発信→地域から全国へ



皆様に聞きたいこと(1)

課題に向けての問題点 ◇魚が小さい(貧栄養化)?





皆様に聞きたいこと ②

課題に向けての問題点 ◇生息数の簡便な調査方法



電気ショッカーでウグイの調査は?



皆様に聞きたいこと③

課題に向けての問題点 ◇ダム開放時のヘドロ対策

ダム上流

ダム下流









全国の団体との交流で課題解決を!

ご清聴ありがとうございました